

---

# 令和元年 東日本台風による 水害時の実践活動から ～過去の災害を活かした活動～

---



栃木市マスコットキャラクター  
とち介

栃木市保健福祉部健康増進課  
白石 孝江

# 本日の内容

---

- 1 栃木市について
- 2 平時の準備
- 3 災害時の状況
- 4 保健師の保健活動
- 5 災害時対応に整備・充足すべき点

# 1 栃木市について

## 1) 栃木市の概要

平成22年～26年に1市5町が合併

人口：159,295人

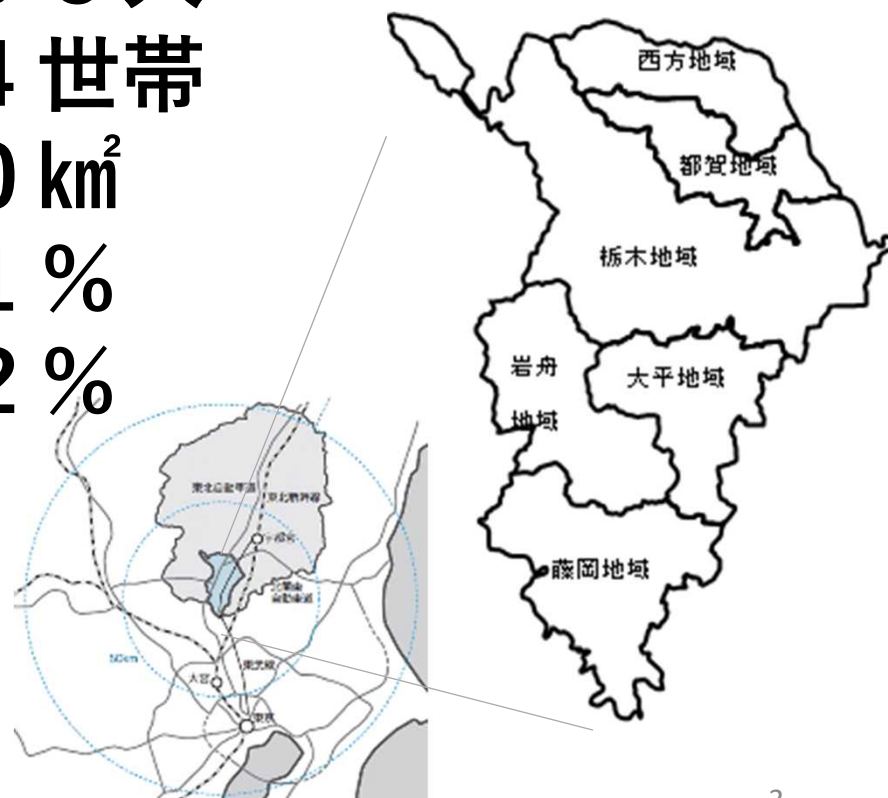
世帯数：65,764世帯

面積：331.50km<sup>2</sup>

老年人口率：31.1%

年少人口率：11.2%

(令和2年3月31日現在)



## 2)保健師の配置部署

保健福祉部 健康増進課…24人（再任用含）  
地域包括ケア推進課…17人  
障がい福祉課…2人

子ども未来部 子育て支援課…1人

生活環境部 保険医療課…1人

※保健福祉部・子ども未来部保健師は避難  
所が開設された場合は救護班で活動

**計45人**

（令和元年4月1日現在）

## 2 平時の準備

### 1 )保健師の組織横断的保健活動

---

平成28年4月から開始

- 係長以上の情報交換会
- 班別活動 **防災班**  
研修班  
記録マニュアル班 等
- 研修会 **災害マニュアル**  
**災害事例による演習** 等

## **2)保健師の災害時の活動**

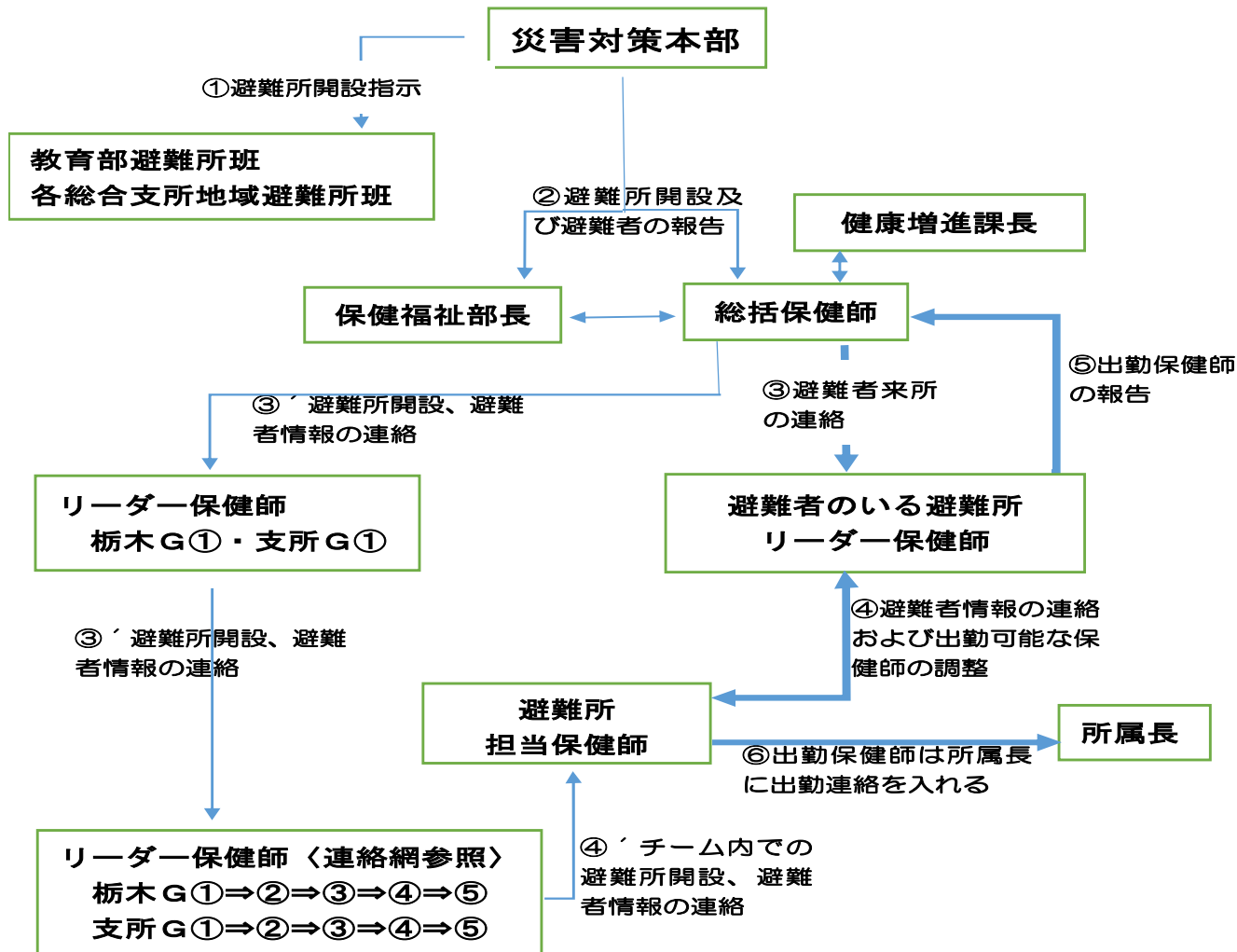
- 災害時職員初動マニュアル
- **保健師災害時対応マニュアル**  
(H29年12月初版作成)

# ※保健師災害時対応マニュアル(H30.8改訂)

---

1. 災害時における保健師初動体制について
2. 避難所保健師活動について
3. 災害時の保健師派遣場所・連絡網
4. 優先避難所の救護セット設置状況
5. 各様式
  - ①健康相談票
  - ②救護日報
  - ③救護用品手配依頼書
  - ④救護用品配送票
  - ⑤緊急医療手配簿

# ※避難所における初動時の保健師の連絡及び配置体制





### 3 災害時の状況

## 1) 東日本台風の影響状況①

(R 2.8.3 1 現在)

人的被害：死亡1名（溺死）

重症2名

（家屋の下敷き、低体温症）

住家被害：8,002世帯

床上浸水3,961世帯

床下浸水4,015世帯

土砂災害等26世帯

# 1)東日本台風の災害状況②

(R 2.8.31 現在)

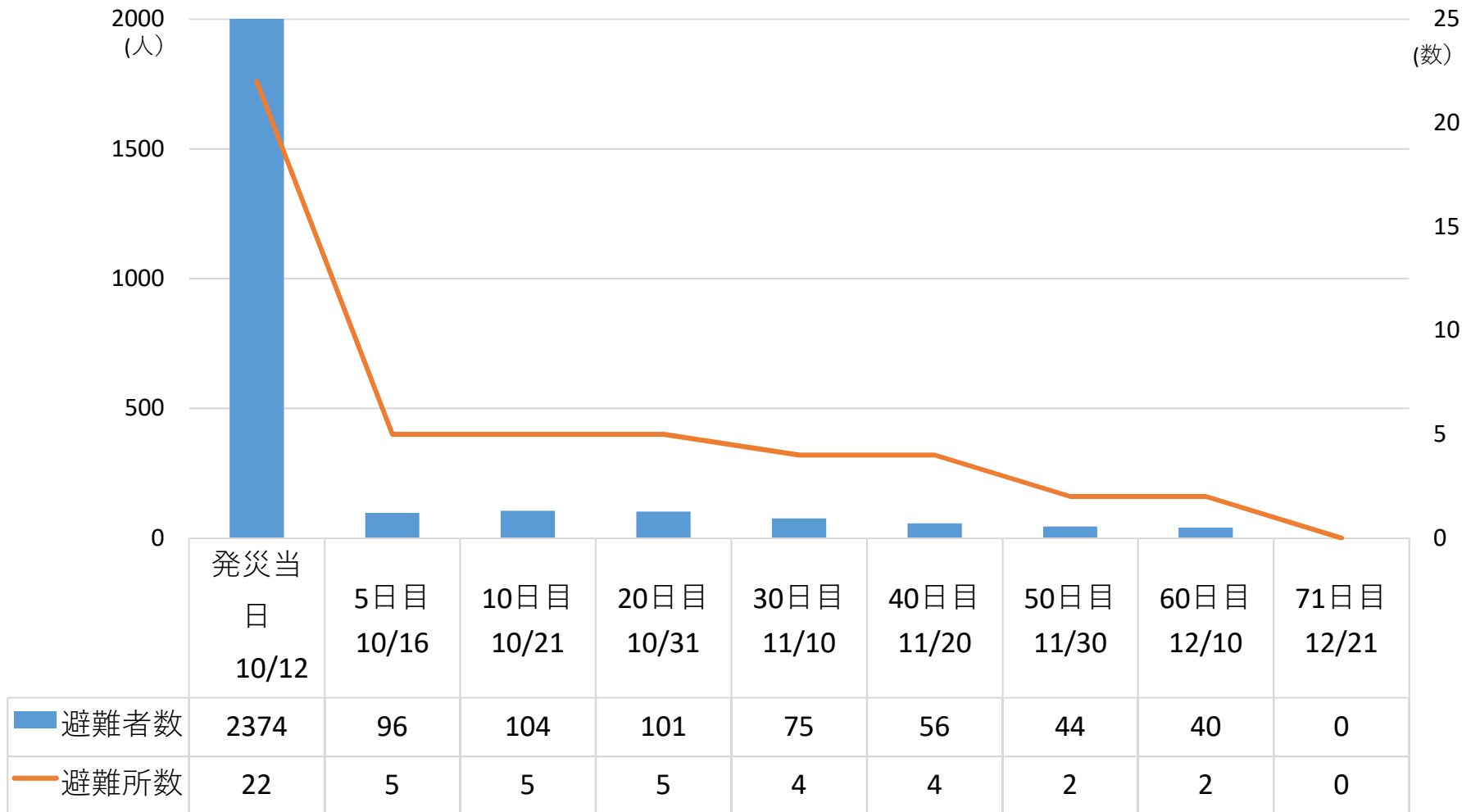
医療機関被害：24件

{ 床上浸水 15件  
床下浸水 9件

保健師被害：床下浸水 2件

自家用車の損壊 1件

## 2) 避難所及び避難者の推移



※発災当日は23時、その他は14時現在

### 3)避難所における保健師の配置

---

- 保健師従事数  
実人員36人  
延人員363人  
(内訳) 日中 72人 夜間 291人
- 10月12日～12月20日 70日間
- 各避難所 1～2名
- 発災時は常駐、以降は巡回対応に切り替え

※避難所 1 か所のみ、2 週間常駐

# 4 保健師の保健活動

---

- 1) 避難所における保健活動
- 2) 在宅被災者の支援
- 3) 受援の調整
- 4) 保健師間の情報共有
- 5) 被災地支援総合対策班の活動(参考)

# 4 保健師の保健活動

## 時系列①

	避難所	在宅	受援
発災 当日	<b>体調不良者・要配慮者の把握と対応</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ケガの処置</li><li>・緊急医療が必要な方に対し救急対応</li><li>・要配慮者に対し部屋の配慮</li></ul>	—	—
発災 1日目	<ul style="list-style-type: none"><li>・追加された避難所を巡回し体調確認</li><li>・高血圧等経過を見ていくことが必要な方に対し健康相談票を作成し健康管理</li></ul>	—	<b>D M A T</b>

※発災当日～発災3日目は休日

# 4 保健師の保健活動

## 時系列②

	避難所	在宅	受援
発災 3日目 ～	<b>要配慮者の健康状態の確認</b> ・妊婦、幼児等 <b>衛生環境の整備</b> ・感染症予防のための環境整備 ・破傷風・ノロウイルス等 感 染予防の呼びかけ <b>管理栄養士と避難者の健康状態を共有</b>	<b>要配慮者の把握と対応</b> ・乳幼児：生後2か月までの乳児がいる家庭、また要フォローケース等の確認と支援 ・高齢者：独居高齢者等に対し、民生委員や自治会と連携し、安否確認と支援 ・障がい者：要支援者に対し安否確認、被災した精神科病院の患者で在宅となったケースについて支援 <b>健康相談窓口の開設</b>	—

※被災地における事業は、災害の状況により中止<sup>15</sup>

# 4 保健師の保健活動

## 時系列③

	避難所	在宅	受援
発災 2 週目	<b>衛生環境の再整備</b> ・感染予防のため生活環境チェックリストを作成し、避難所班に依頼	—	<b>県保健師</b> ・避難者の健康管理
発災 3 週目	—	<b>在宅被災者の健康状態の把握</b> ・被災地高齢者実態調査の実施	<b>県保健師・県看護協会災害支援ナース</b> ・在宅被災者実態調査の協力 <b>DWAT</b> ・避難者の福祉支援
発災 1 か月目	<b>健康体操の定期実施の開始</b> ・地域包括支援センターの保健師による	—	<b>日赤ころのケアチーム</b> ・避難者のころの支援



# 1)避難所における保健活動

---

- ①避難者の健康管理
- ②環境整備
- ③生活環境チェックリストの作成
- ④感染及びエコノミークラス症候群等  
予防の周知（ポスター掲示・チラシ配布）
- ⑤生活不活発病予防の体操実施
- ⑥要配慮者の支援（高齢者・妊婦等）
- ⑦管理栄養士との連携

# 2)在宅被災者の支援

## ～被災地健康調査～

### (1) 目的

被災地域において、発災後2週間以上経過した現在も復興の見通しがたたず、被災者は様々な課題を抱え生活している。今後、被災地の公衆衛生や健康状態の悪化が懸念されるため、健康調査を実施し、健康課題のある者を必要な支援につなぐ。

### (2) 対象世帯

被災地域の高齢者のいる世帯 261世帯

- ・介護認定者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で、介護保険サービスを利用していない者
- ・年齢が100歳以上の者

### (3) 実施方法及び実施期間

家庭訪問：R元年10月30日～11月1日、11月8日 4日間

電話：R元年10月30日（水）から随時（不在者等を対応）

### (4) 従事者

市保健師・看護師、栃木県保健師

栃木県看護協会災害支援ナース

## 2)在宅被災者の支援

### ～被災地健康調査～

#### (5) 把握状況

	在宅	不在	計
栃木地域	91 (62.3%)	55 (37.7%)	146 (100%)
大平地域	68 (59.1%)	47 (40.9%)	115 (100%)
計	159 (60.9%)	102 (39.1%)	261 (100%) <sub>19</sub>

## 2)在宅被災者の支援

### ～被災地健康調査～

#### (6) 要支援者状況

	世帯数	主な内容
地域包括支援センター	8	・ 浸水被害後の片付けが進んでおらず環境が悪化、支援者がいない。 ・ 被災後心身の健康状態悪化し経過観察が必要。
健康増進課	2	
計	10	

#### (7) 不在世帯状況

	確認済み世帯					未確認世帯		総数
	電話対応	入院入所	避難	包括介入	その他	居所不明	連絡なし	
世帯数	28	44	6	2	15	1	4	102

# 3) 受援の調整

受援開始 時期	受援機関	受援内容	派遣状況
発災 1日目	栃木県災害派遣医療 チーム（DMAT）	避難所や災害医 療機関の情報収 集と支援	10/13～10/14(2日間) 延8人
発災 2週目	栃木県保健師	避難所（中央小） 避難者の健康観 察	10/19～11/8(21日間) 延39人
発災 3週目	栃木県災害福祉支援 チーム（DWAT）	避難所避難者の 福祉相談支援	10/28～11/19(10日間) 延50人
	栃木県保健師、栃木県 看護協会災害支援ナ ース	在宅被災者実態 調査の協力	10/30～11/1(3日間) 延30人
発災 1か月目	栃木県日本赤十字社 こころのケアチーム	避難所（中央小） 避難者のこころ の支援	11/19～11/29(4日間) 14人

## 4)保健師間の情報共有

---

- ①ラインの利用
- ②避難所日報の見直し
- ③係長以上の情報交換会の開催

## 5)被災地支援総合対策班の活動(参考)

---

**目的：**避難所における被災者の二次被害を予防するとともに、早期に元の生活に戻れるように支援する。

**構成：**8名

統括班、被害調査班、被災者支援班、福祉救援班、救護班（保健師）、住宅復興班、避難所班

**主な活動内容：**避難者の個別支援、生活支援及び健康状態の確認調査、住まいについてのアンケート調査、在宅避難者の支援

# 5 災害時対応に整備・充足すべき点

---

## 1) 活動体制の整備

- ①保健師災害時対応マニュアルの見直し
- ②優先業務の実施の実効性
- ③受援活動方針の作成

## 2) 人材育成の推進

- ①研修（学びの共有等）
- ②マニュアルの共有

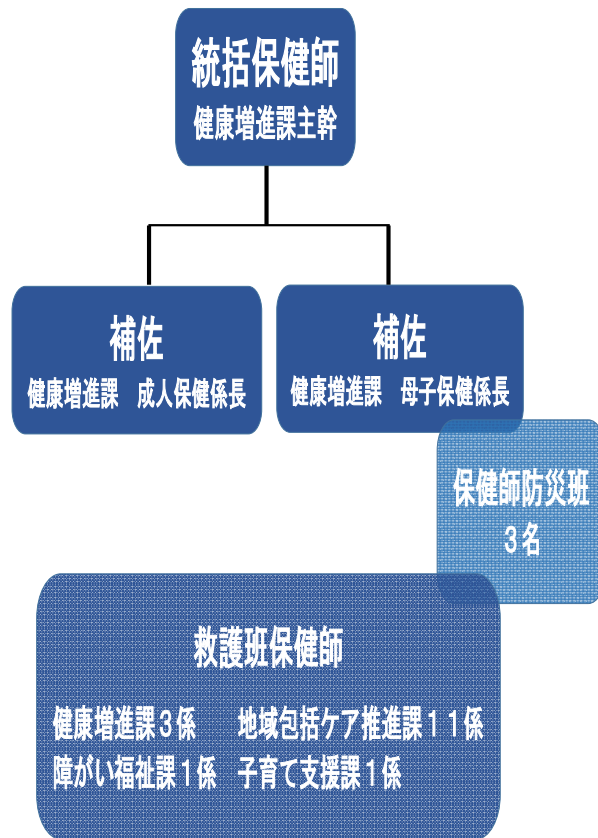


# ※保健師災害時対応マニュアル(R2.7改訂)

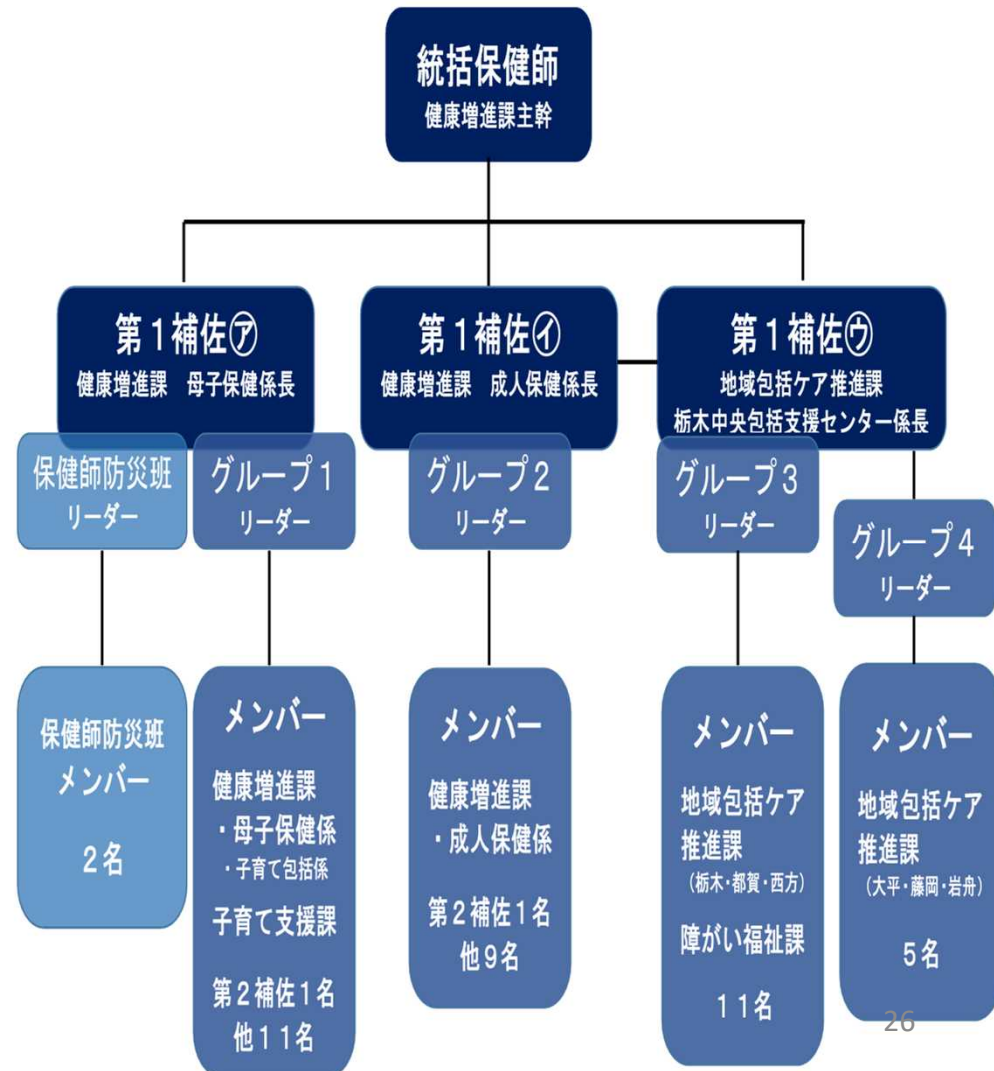
- I. 災害時における保健師の保健活動体制について
- II. 保健師救護班活動の流れ（初動0日目）
- III. 保健師救護班活動の流れ（発災1日目～）
- IV. 在宅被災者の支援の実施（フェーズ2、3）
- V. 災害時保健師派遣場所一覧
- VI. 救護班の連絡体制と保健師活動について
- VII. 優先避難所の救護セット設置状況
- VIII. 救護セット一覧
- IX. 各様式
  - ・様式1 健康相談票
  - ・様式1-1 経過記録
  - ・様式2 日報
  - ・様式3 救護用品手配依頼書
  - ・様式4 救護用品配送票
  - ・様式5 緊急医療手配簿
  - ・様式6 避難所従事保健師配置予定表
  - ・様式7 避難者名簿及び感染予防チェック表
  - ・様式8 保健師活動集計表
  - ・様式9 受援記録簿
  - ・様式10 会議・打合せ実施記録簿
  - ・様式11 被災地健康調査活動日報
  - ・様式12 被災地健康調査【健康調査票】
  - ・様式13 被災地健康調査【世帯調査票】
  - ・様式14 被災地健康調査【健康相談票】
  - ・様式15 被災地健康調査【災害時こころのチェックリスト】
  - ・様式16 被災地健康調査【不在連絡票】
  - ・様式17 体調自己管理シート

# ※保健師の体制～避難所継続開設の場合～

【現 行】



【見直し】



# ※保健師の役割分担

役 割	役割の概要
統括 保健師	保健師全体の統括、保健活動に係る情報を集約・分析し保健活動方針を検討 栃木県と連絡調整、応援・派遣保健師等との連絡・調整
避難所 G L 保健師 (初動 10 名 継続 4 名)	避難所の保健師配置の調整、メンバー保健師の指示や相談役、避難所の活動状況の報告
第 1 補佐 (3 名)	<p>&lt; 母子保健係長 &gt; 母子保健要配慮者支援の統括、保健活動の記録・集計、救護物品の調達・補充 避難所班係長との連絡相談、被災地健康調査（全世帯実施の場合）の統括</p> <p>&lt; 成人保健係長 &gt; 避難所活動状況の集約、在宅被災者支援状況の把握 応援・派遣保健師の連絡調整、連絡会議の開催</p> <p>&lt; 栃木中央包括支援センター係長 &gt; 地域包括ケア推進課保健師への連絡、高齢者要配慮者支援状況の集約 被災地健康調査（高齢者のみ対象の場合）の統括</p>
第 2 補佐 (2 名)	第 1 補佐業務の補佐
防災班 (3 名)	保健活動様式等の変更等、記録を集約し保健活動まとめ、事後報告書の作成 活動終了後救護物品の確認・補充

# 5 災害時対応に整備・充足すべき点

## 3) 関係者・関係機関との連携

- ① 保健師間の連携
- ② 庁内連携（防災・避難所班等）
- ③ 栄養士等専門職との連携
- ④ 医師会等との連携
- ⑤ 地区組織との関係づくり

## 4) 要支援者台帳の整備

## 5) その他

- ① ハザードマップ等地域の情報の把握  
及び安全ルートの確認
- ② 各種保健医療活動チームの理解
- ③ 保健師活動の見える化

ご清聴ありがとうございました



栃木市マスコットキャラクター  
とち介